

Press information

2019 年 1 月 8 日

※これは、2019 年 1 月 8 日にダイムラー社から発表された
プレスリリースの日本語抄訳です。

メルセデス・ベンツ販売実績、8 年連続で過去最高を更新、プレミアムカーセグメントで首位を堅持

- メルセデス・ベンツの 2018 年乗用車世界販売台数は 230 万台以上（前年比 0.9%増）と、過去最高を記録
- ダイムラー社乗用車部門のメルセデス・ベンツ・カーズ（メルセデス・ベンツおよびスマート）全体では 240 万台以上（同 0.6%増）
- メルセデス・ベンツは 3 年連続の最多販売プレミアムカーブランド
- 業界全体の環境が悪化する中、メルセデス・ベンツは 8 年連続で過去最高を記録
- 年間販売台数で過去最高となったメルセデス・ベンツは、第 4 四半期および 12 月単月でも過去最高を達成
- アジア太平洋地域では通期販売台数が過去最高
- 中国は販売台数増加率が前年比 11%以上、絶対数増加も最大で、メルセデス・ベンツにとって最大の市場

メルセデス・ベンツは、2018 年も引き続きプレミアムカーの最多販売ブランドの座を堅持しました。2018 年は厳しい環境にあって乗用車世界販売台数をさらに伸ばして 231 万 185 台とし、8 年連続で過去最高を更新するとともに（前年比 0.9%増）、3 年連続で最多販売プレミアムカーブランドとなりました。この新記録の達成は、アジア太平洋地域および最大の市場である中国市場におけるメルセデス・ベンツの貢献が目立っています。モデル別の世界販売では、SUV や E クラスセダンおよびステーションワゴンなどのモデルが好調に推移しました。

ダイムラー社取締役会会長 兼 メルセデス・ベンツ・カーズ統括のディーター・ツェツェは、次のように述べています。「メルセデス・ベンツは 2018 年、3 年連続で自動車業界のトッププレミアムブランドとなりました。また、熾烈な競争環境の中においても、中国における 2 桁成長や、多くのニューモデルが世界中の既存および新規のお客様に喜ばれたことなどにより、12 ヶ月連続で首位を堅持しました。2019 年も引き続きラインアップの若返りを一貫して進めてまいります。当社としては、中核事業が大きな成功を収めることが、未来の個人モビリティ構築を何よりも可能にするものと考えています」。

年間販売台数で過去最高となったメルセデス・ベンツは、第4四半期実績でも過去最高を記録しました（59万5,098台、前年同期比4.0%増）。また、12月単月も過去最高の20万6,532台となりました（前年同月比6.7%増）。2018年は多くの市場でプレミアムブランド中最多新規登録台数を堅持するとともに、以下の市場でトップブランドとなりました—ドイツ、フランス、ロシア、スイス、ポーランド、ポルトガル、トルコ、デンマーク、ハンガリー、ルーマニア、韓国、日本、オーストラリア、タイ、インド、マレーシア、ベトナム、シンガポール、米国、カナダ、ブラジル、アルゼンチン。

ダイムラー社取締役メルセデス・ベンツ・カーズ営業、マーケティング統括のブリッタ・ゼーガーは、次のように述べています。「メルセデス・ベンツ・カーズでは2018年販売台数が240万台以上と、過去最高を再び更新しました。しかも8年連続の快挙となります。さらに、厳しい環境の中でも、プレミアムセグメント首位の座を守り抜きました。モデルの魅力とお客様のご愛顧を励みに、当部門では新年も引き続き最高の仕事をすべく意気込んでいます。ここ数ヶ月は新型Aクラスの販売好調から、MBUXのような秀逸な革新技術が市場で高く評価されることが示されました。2019年は、メルセデス・ベンツの10モデル以上にMBUXの直感的操作方式と人工知能を導入し、お客様の期待にお応えしていきます。車種はコンパクトカーだけでなく、SUVにも広がることとなります」。

地域別メルセデス・ベンツ通期販売台数

2018年最大の牽引役はアジア太平洋地域

アジア太平洋地域におけるメルセデス・ベンツ乗用車の通期販売台数は94万3,473台と、過去最高となりました（前年比7.8%増）。中国は65万2,996台で、アジア太平洋地域だけでなく、世界的にも引き続きメルセデス・ベンツ最大の市場となりました。すなわち、「中国で生産し、中国で販売する」戦略の成功によって販売台数が前年実績を11.1%上回り、過去最高を更新しています。スマートブランドの実績を合算して、ダイムラー社の乗用車部門、メルセデス・ベンツ・カーズとして見た場合の中国における通期販売台数は、プレミアムメーカーとして初めて60万台の大台を突破しました。また、販売台数の過去最高は、アジア太平洋地域第2の市場である韓国でも達成されました（同4.9%増）。

欧州は前年の高い水準を維持

欧州地域は93万3,697台（同2.3%減）。モデル別で増加幅が過去最高を記録したのはSUV、Sクラスセダン、新型Aクラスでした。ドイツでは30万3,862台（同0.1%増）と、メルセデス・ベンツが引き続き同市場プレミアムセグメント首位の座を堅持。新型Aクラスによるここ数ヶ月での2桁増もこれに寄与しました。また、スペイン、スイス、スウェーデン、ポーランド、デンマーク、ハンガリーを含む、多くの市場で過去最高を更新しました。

NAFTA 地域は約 38 万台

NAFTA 地域は 37 万 8,013 台（同 5.6%減）で、引き続きメルセデス・ベンツは同地域の最多販売プレミアムブランドとなっています。メキシコでは過去最高を記録（同 8.4%増）、米国では 31 万 5,959 台（同 6.3%減）で、3 年連続でプレミアムセグメントの首位を確保するとともに、重要な SUV 市場で過去最高レベルまで販売台数を伸ばしました。カナダでもプレミアムクラスとして最多販売ブランドとなりました。同市場のこの記録は 5 年連続の快挙となっています。

モデル別メルセデス・ベンツ通期販売台数

SUV 通期実績は販売拡大により過去最高

メルセデス・ベンツ SUV の販売台数は 82 万 721 台、前年比 1.9%増と、ブランド全体の販売に大きく貢献しています。SUV はアジア太平洋地域、欧州、NAFTA の 3 大地域でも過去最高となりました。また、メルセデス・ベンツの総販売台数に占める SUV 比率は現在 3 分の 1 以上に達しています。2018 年の主要市場は中国、米国、ドイツでした。また、SUV の最多販売モデルは、GLC および GLA でした。メルセデス・ベンツ SUV のサクセスストーリーは 2019 年も続く見通しで、GLE や EQC に加え、GLC および GLC クーペのフェイスリフトなどが主な牽引役となるはずです。

メルセデス・ベンツ総販売台数の 4 分の 1 がコンパクトカー

A クラスのモデルチェンジが行われた 2018 年、A クラス、B クラス、CLA、CLA シューティングブレーク、GLA の新車販売台数は合わせて 60 万 9,000 台を上回り、メルセデス・ベンツ総販売台数の 4 分の 1 をコンパクトカーが占めることとなりました。コンパクトカーにとって昨年最大の市場となったのは中国とドイツでした。新型 A クラスは世界販売が前年比 3.4%増、本国ドイツでは同 21.8%増と好調に推移しました。この好調な販売を受けて、2019 年は新世代コンパクトカーに A クラスセダン、B クラス、CLA など、さらにモデルを追加する計画です。

C クラスは引き続きメルセデス・ベンツの最多販売モデル

C クラスセダンおよびステーションワゴンも 2018 年はフェイスリフトが実施されましたが、引き続きメルセデス・ベンツの最多販売モデルとなりました。両モデル合わせて約 39 万 7,000 台。このうち、中国のみで生産・販売されている C クラスセダンのロングホイールベースは 2 桁増の過去最高となりました。中国向けのクルマを中国国内で開発する取り組みはその効果を上げつつあり、現地のお客様ニーズにお応えすることがいかに重要かを示すものとなっています。中国は 2018 年、C クラスにとって最大かつ最も急速に拡大する市場となりました。また C クラスセダんに

については、アジア太平洋地域が販売台数全体の半分を占め、過去最高を記録しました（同 11.4%増）。

通期販売 2 年目の E クラスも引き続き過去最高

E クラス セダンおよびステーションワゴンは販売台数 35 万 5,000 台以上と、新世代モデルの通期販売 2 年目にして前年比 1.3%増を達成。メルセデス・ベンツがラインアップ拡大を続ける中でも年間販売台数の過去最高を記録しました。1 つの大きな要因としては、中国でロングホイールベースが高い人気を保っている（同 32.7%増）ことが挙げられます。

S クラス：メルセデス・ベンツのフラッグシップモデルとして世界販売で 2 桁成長

S クラス セダンはフェイスリフトから約 1 年半を経た 2018 年も引き続き高い人気を保ち、販売台数は 7 万 7,927 台となりました（同 12.2%増）。また、欧州では前年比 7%増となっています。メルセデス・マイバッハ S クラス セダンも非常に好調で、究極の高級感と品質の代名詞となっており、2018 年の販売台数は過去最高となりました（同 21.8%増）。なお、このうち 3 分の 2 以上が中国での販売となっています。

ドリームカー：新型 CLS クーペが好調

メルセデス・ベンツのクーペ、カブリオレ、ロードスターについては、多くのお客様が新車を持つ夢を昨年もかなえられた結果、世界販売台数は約 16 万 6,000 台と、前年並みの水準を保ちました。メルセデス・ベンツのこのドリームカーファミリーの好調には、CLS クーペが大きく貢献しています（同 69.7%増）。また、2018 年後半より発売となった新型の C クラスカブリオレと C クラスクーペも多くのお客様に選ばれました。

V クラスと X クラスも販売を拡大

マルチパーパスビークル V クラスの 2018 年通期販売台数は 6 万 2,699 台で過去最高を更新しました。前年比では 6.8%の増加となっています。特に需要が旺盛だったのはドイツ市場、また、増加の絶対数が最大だったのは中国市場でした。ピックアップトラックの X クラスは 2017 年後半より欧州で販売されており、2018 年には南アフリカ、オーストラリアなどの中核市場でも発売となり、成功を収めました。2018 年 7 月からは 6 気筒エンジンモデルが追加導入となり、販売にさらなる弾みがつきました。この結果、2018 年の総販売台数は 1 万 4,000 台を上回っています。

メルセデス AMG は総販売台数 11 万 8,000 台以上

メルセデス・ベンツのパフォーマンス&スポーツカーブランド、メルセデス AMG（本社：アファルターバッハ）は、2017年に続いて10万台の大台を突破しました。昨年の一部の外国市場で配車が遅れましたが、世界販売台数は11万8,204台となりました（前年比10.4%減）。AMGの主要販売市場である中国と日本では2桁の増加となり、いずれも過去最高を更新しました。昨年のメルセデス AMG で目立った動きは、製品ポートフォリオの拡大とシフトを継続したことです。ハイブリッド機能を備える新シリーズ呼称の「53」モデルは、2018年中にCLS、Eクラスクーペおよびカブリオレの3モデルが加わりました。もう1つ大きな出来事としては、SLS、GTに続く100%自社開発スポーツカー第3弾となるメルセデス AMG GT4 ドアクーペの発売が挙げられます。さらに、「ドライビングパフォーマンス」の世界へ初めて足を踏み入れる手段となる新しいエントリーモデルとして、メルセデス AMG A35 4MATIC（総合燃費：7.4~7.3L/100km、総合CO2排出量：169~167g/km）*がラインアップに加わりました。

スマートは前年並みの好調な実績

2018年にブランド誕生20周年を迎えた超小型車のスマートブランドは、smart fortwo および smart fourfour を合わせて12万8,802台と、過去10年で3番目となる販売台数を達成しました（前年比4.6%減）。ドイツでは前年実績を大きく上回る4万1,000台以上となりました（同14.0%増）。また中国でも人気が高く、2018年実績は2009年に初めて発売されて以来、2番目に高い水準となっています。昨年のスマートは電気自動車ブランドへのシフトにより、いっそうの進化を遂げました。すなわち、スマート電気自動車3モデルが初めて揃って通期販売となり、電気自動車のみの販売台数として過去最高を記録しました。スマート電気自動車が昨年春、製品&テクノロジーブランドEQへ移管されたことから、スマート電気自動車3モデルは、EQファミリー初の量産車となりました。スマートブランドの100%電化は、米国、カナダ、ノルウェーではすでに完了しており、欧州については2020年を目標に移行を進めています。

*上記数値は所定の測定方法により決定。この「NEDC CO2 排出量」は実施規則（EU）2017/1153 第2条第1項によるもので、燃費はこれをもとに算出しました。各市場で販売される車両に関する WLTP 値を含めた詳細は、以下に掲載しています。どうぞご利用下さい：www.mercedes-benz.com